

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (教育学)	氏名 Author	KAO SOVANSOPHAL
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation A Study on the Relationship between Upper Secondary School Track and Post-Secondary Aspiration of Science, Technology, Engineering, and Mathematics (STEM) Majors in Cambodia			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	教授 清水 欽也	印 Seal	
審査委員 Committee	教授 馬場 卓也		
審査委員 Committee	准教授 牧 貴愛		
審査委員 Committee	准教授 松浦拓也 (広島大学大学院人間社会科学研究科)		
審査委員 Committee	Research Scientist, Jon. D. Miller (University of Michigan)		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文は、カンボジア王国（以下カ国とする）後期中等教育段階から高等教育段階において科学技術系（STEM）人材への進路選択に関わる要因を見出そうとする研究である。</p> <p>第1章では、研究の背景や目的について述べ、カ国における（1）高校生の科学系コース選択の要因（2）理系・文系コース別の生徒の変容（3）文理コース分けの科学技術系専攻選択に対する効果を明らかにするという課題を導出した。第2章では先行研究から、4つの専攻選択のモデルを示し、包括的なモデルを作成した。第3章では、先行研究をレビューしカンボジアの教育制度や効果的な要因の抽出を行ったうえで第4章では方法論についての議論を行った。第5章では（1）の高校生のコース選択の要因について調査・分析を行い、①理数科の学業成果、②科学に対する態度、③家族の科学に対する支援などが有益であるとの結果を見出した。第6章においてはコース選択後の生徒の変容について分析を行った。その結果理系コースを選んだ生徒は科学の重要性については認識しているがそれがすなわち科学系職業につくことにはあまりつながっていないこと、性別は早い学年ではあまり作用していないこと。文理コース分けは効果があるがその効果はあまり大きくはないことなどが指摘された。第6章では、理数科における双方向型授業のほうが、文理コース分けより効果があること、性的役割、学業成績、家族の支えなどが要因として強く働くことなどが指摘された。</p> <p>本論文の各章は、下記の通り、査読付き国際論文誌に掲載されている。したがって、本論文の著者は博士号（教育学）を授与されるに十分な資格があると認められる。</p>			
Kao, S. (2019). Cambodian Upper secondary School Students' attitudes towards science: trends and patterns <u>Journal of International Development and Cooperation</u> , Vol.26, (1), 15-27			
Kao, S. (2019). Family socioeconomic status and students' choice of STEM majors: evidence from higher education of Cambodia. <u>International Journal of Comparative Education and Development</u> , Vol.22 (1). 49-65			
(他 3 編)			